



## 北星小学校餅つき大会

この時期の恒例行事となっているもちつき大会。毎年、保護者や地域の人たちに協力してもらい実施している。もち米は、小学校区域内で収穫した9キロを使用。1年生から6年生の59人で100人分の餅を作った。子どもたちは、保育園のときから餅つきをしているので手馴れた手つき。しかし、中には力が入りすぎて餅をつかず、白をつく児童も。みんなで「ヨイショ、ヨイショ」の掛け声をかけ、和やかな雰囲気で行われた。

～ヨイショ ヨイショ～

12月21日(水)：北星小学校



ヨイショ!



お餅を作る子どもたち

## みんな集まれ!クリスマスだよ★

～興奮気味の園児たち～ 12月22日(木)：田鶴浜保育園



サンタさんからプレゼント!



みんな楽しくダンス!



保護者会から歌のプレゼント



サンタさんが登場!

今年の田鶴浜保育園のクリスマス会は、初めて保護者会の人たちも参加して行われた。保護者は、事前に練習を重ね、楽器を使ったクリスマスソングを披露。お母さんたちの演奏に合わせて、子どもたちもいっしょに歌った。その後、園児が心待ちにしていたサンタクロースが登場。サンタクロースからプレゼントを受け取った園児たちは、あまりのうれしさに興奮気味。子どもたちにとっては、年に一度の楽しいひとときになった。



12月28日(水)：気多本宮神社

先生が「来年は何年」と園児に聞くと「辰年」と元気一杯の声で応える年長児19人。園児が、辰年にちなんで、気多本宮神社の手水鉢にある『龍の口』を手作りたわしで清掃した。「来年、みんなは新1年生になるんだから、辰年への思いを込めてきれいにしてよ」と先生が言うと、「は〜い」と園児たちは念入りに『龍の口』を洗っていた。手作りたわしは、園児が種まきから稲刈りなどを行ったイセヒカリのわらを束ねて作ったたわし。

本宮保育園児の大掃除  
〜辰年への思いを込めて〜



12月22日(木)：御祓中学校

オペラ歌手として、世界の舞台で活躍している鳥木弥生さん。鳥木さんは七尾市出身で、今回のコンサート会場になった御祓中学校の卒業生でもある。鳥木さんは、歌う前に曲の説明やトークを交えながら美しい歌声を披露。大きな会場にもかかわらず、マイクを使用しないで歌う鳥木さん。このコンサートに参加した生徒をはじめとする保護者や地域の人たちは、鳥木さんの声質と声量に聞き惚れていた。

オペラ歌手鳥木弥生コンサート  
〜素敵な歌とトークのひとつとき〜



1月10日(火)：自宅(飯山町)

90歳過ぎまで畑仕事に汗を流し、約1キロ先まで手押し車を押していくほど元気だったという佐渡さん。今でも自宅で暮らし、言葉は少ないながらも「皆さんこんにちは。ありがとう」と力強い声で話すなど、はつらつとした表情を浮かべていた。長生きの秘訣は「好き嫌いなく何でも食べ、体を動かすことが好きだったからではないか」と一緒に暮らす息子の安人さんはこれまでの生活を振り返りながら話した。

100歳おめでとうございませう  
〜佐渡花枝さん〜



1月7日(土)：徳田小学校

4・5年生 39人が石川県で唯一の代表として、昨年に続き2回目の出場を果たした。体育館では、激しい練習が行われ、この大会に向けての意気込みが伝わった。5年生キャプテンの水岸龍之輔君は「目標は力を合わせ、声を出して自己ベストを更新したい」と力強い言葉で話してくれた。結果は、全国大会出場は果たせなかったものの、2チームとも自己ベストを記録。ぜひ、来年は全国大会出場を果たしてほしい。

ロープジャンプ大会東海・北陸地区予選出場  
〜自己ベストを更新〜



1月12日(木)：市長応接室

平成23年七尾市文化産業賞の受賞記念に、小田禎彦さん（「加賀屋」代表取締役会長）から七尾市へ寄附金（金1,000万円）をいただき、市から感謝状が贈られた。「夜間の和倉温泉の街中が暗いため、地元の人や観光に来られた人が安心して歩けるように街路灯の設置などに使ってほしい」と、小田さんの和倉温泉に対する深い愛情が込められたもの。今後は、和倉温泉の振興に使われる。

小田禎彦さんへ市感謝状を贈呈  
〜和倉温泉振興に寄附金〜



1月11日(水)：鶴友苑(田鶴浜町)

33歳のときに夫を亡くし、人並み以上の苦労を重ねて家を守ってきた吉村さん。そんな人生でも「人の悪口は言わず、優しく笑顔を振りまいている人。私が話しかけるといつも笑顔で応えてくれる」と娘(長男の嫁)の幸子さんは話した。また、入所施設の職員から想いが込められた色紙が贈られると、感極まって目を赤らめる場面もあり、喜びをかみしめているようだった。

100歳おめでとうございませう  
〜吉村みよさん〜